

令和4年度 放課後等デイサービス自己評価（職員） まとめ

- ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか
 - ・放課後等デイサービスと日中一時支援でクラスを分けている。
- ② 職員の配置数は適切であるか
 - ・人数に応じての配置数になっている。
- ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか
 - ・スロープや段差がない。
- ④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか
 - ・振り返りはよく行われている。PDCAサイクルの仕組みを全ての職員が理解し、活用できれば更に良いと思う。
- ⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか
 - ・保護者からの率直な意見を聞く機会ができており、良いと思う。改善につなげられるようにしていきたい。
 - ・ケース会で取り上げ、結果をふまえて、次年度に活かせるようにしている。
- ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。
- ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
- ⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
 - ・定期的、また必要に応じ研修があり、新しい発見や、見直しの機会になっている。
 - ・参加した職員の研修報告を共有する。
- ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか
 - ・面談や日々の連絡を通じて、保護者や子ども達のニーズをくみ取れるよう努めている。
 - ・面談を通して、その都度必要な情報を共有し、サービス等利用計画に応じて作成している。
- ⑩ 子どもの適応行動を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

- ⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか
- ・意見を出し合い、子ども達が楽しく取り組める活動を考えている。
- ⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか
- ・変化も楽しめるよう、リサーチを欠かさず、アイデアを生かすようにしている。
- ⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか
- ・全体での課題はバランスを考慮している。粗大運動、微細運動も常に取り入れている。
- ⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか
- ⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか
- ・朝礼時に確認している。
 - ・簡潔に用件を伝え、子ども達への支援がスムーズに行えるようにしている。準備も協力して行っている。
 - ・朝の申し送り後に確認している。
- ⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日の行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか
- ・情報の共有を行っている。細やかに支援ができるように、職員間の気付きを大切にしていきたい。
- ⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
- ・起こった事を正確に記載し、話し合いの際の資材にできている。
- ⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか
- ・書面や電話でモニタリングを行い、保護者と確認をしている。
- ⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか
- ⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさ

わしい者が参画しているか

- ②① 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか
 - ・日々、変わった事がないか、バス乗車時に視診を行い、適宜、担任と情報交換を行うようにしている。
 - ・年2回の情報交換、必要に応じて電話対応をしている。
- ②② 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか
 - ・年度初めに指示書を提出してもらっている。
- ②③ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか
 - ・支援会議や書類等で情報共有を行っている。
- ②④ 放課後等デイサービス事業所から、他の放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか
 - ・相談支援専門員を通して、担当者会議を行っている。
- ②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
- ②⑥ 他の放課後等デイサービス事業所との交流や活動する機会があるか
 - ・年2回行った。
- ②⑦ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか
 - ・管理者が参加している。
- ②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか
 - ・連絡帳、必要に応じて電話対応をしている。
- ②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

- ③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
- ・運営規定は電話での説明になった為、不十分な説明になっているかもしれない。
- ③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか
- ・細かな事も連絡帳に記載してもらったり、口頭で話したりすることで、相談を受けられている。複数人で共有し、解決に向けた助言や支援ができています。
 - ・連絡帳、電話対応、面談時に行っている。
- ③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか
- ③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか
- ③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
- ・園だよりなどで発信している。
 - ・毎月発行の園だより、クラスだよりで発信している。
- ③⑮ 個人情報に十分注意しているか
- ③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
- ③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
- ・サンキューバスの運行や地域の行事に参加している。
- ③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか
- ③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか
- ・定期的に行われる訓練に参加できるため、子ども達もスムーズに避難できている。
 - ・避難訓練の他に、クラスでの地震対応の訓練をしている。
- ④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

- ・様々な意見交換を行い、意識の向上と自らの支援の振り返りができている。

④① どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

④② 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

- ・年度が変わる時に毎年医師からの指示書を提出してもらい、給食室、担任等関わる職員同士で確認をしている。毎日の給食、おやつのに再度確認をしている。
- ・年度初めに指示書を提出してもらっている。

④③ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか